

勝央町

第174号

議会 だより

Shoo-cho, Okayama



目次

- 2 第3回定例会議案審議報告
- 3 令和6年度 決算審査報告（監査委員）
- 4～11 7人の議員が町政を問う
- 12 意見交換会「勝央町の未来を考える」
- 13 勝田郡議会議員協議会視察研修報告
- 14 岡山県町村議会議員研修会報告・議会用語
- 15 議会の動き
- 16 「園児・児童・生徒」秋のイベント特集
- 編集後記



美野平野に飛来したコウノトリ

勝央町マスコット
キャラクター
きんとくん

令和7年11月1日発行 編集／町議会広報編集委員会 発行／岡山県勝央町議会 発行部数／4,200部
〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田201 ☎(0868)38-1754 e-mail: gikai@town.shoo.okayama.jp



令和7年

第2回臨時会議案審議報告

(会期7月14日)

請負契約

●全員賛成で原案可決

議案第53号

第3の居場所拠点改修工事の請負契約をなすことについて

契約の目的 令和7年度第3の居場所づくり事業

第3の居場所拠点改修工事

契約の方法 一般競争入札(条件付)による契約

契約金額 1億8千414万円

契約工期 議会議決の日から令和8年2月28日まで

契約の相手 佐藤建設(株)・(株)ミヨシ特定建設工事共同企業体

代表者 佐藤建設(株)

代表取締役 佐藤 公泰

条例改正

●全員賛成で原案可決

議案第54号

勝央町立保育園条例の一部改正について

補正予算

●全員賛成で原案可決

議案第55号

令和7年度勝央町一般会計補正予算(第2号)

予算の総額に、歳入歳出それぞれ629万円を追加し、総額を69億649万円と定めるもの

議案第56号

令和7年度勝央町水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出において54万4千円を追加し総額を4億6千710万7千円と定めるもの



令和7年

第3回定例会議案審議報告

(会期9月5日~11日)

契約案件

●全員賛成で原案可決

議案第57号

勝央町立小中学校児童生徒用端末の取得について

取得物件 勝央町立小中学校児童生徒用端末

契約の方法 随意契約(岡山県共同調達)

取得金額 価格 5千795万200円

契約の相手 学びの未来を共創するGIGAスクール整備共同体

代表者 株式会社ライズオカヤマ

代表取締役 松井 秀之

条例改正

●全員賛成で原案可決

議案第58号

職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

議案第59号

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

議案第60号

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

議案第61号

勝央町給水条例の一部改正について

議案第62号

勝央町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに

水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について

議案第63号

勝央町下水道条例の一部改正について

補正予算

●全員賛成で原案可決

議案第64号

令和7年度勝央町一般会計補正予算(第3号)

予算の総額に、歳入歳出それぞれ2億7千738万4千円を追加し、総額を71億8千387万4千円と定めるもの

議案第65号

令和7年度勝央町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千784万2千円を追加し、総額を11億6千203万3千円と定めるもの

議案第66号

令和7年度勝央町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

予算の総額に、歳入歳出それぞれ17万1千円を追加し、総額を1億7千535万2千円と定めるもの

議案第67号

令和7年度勝田郡介護認定等審査会特別会計補正予算(第1号)

予算の総額に、歳入歳出それぞれ13万8千円を追加し、総額を326万2千円と定めるもの

議案第68号

令和7年度勝央町介護保険特別会計補正予算(第1号)

保険事業勘定の予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億1千123万8千円を追加し、総額を14億7千983万円とし、介護サービス事業勘定の予算の総額に歳入歳出それぞれ48万2千円を追加し、総額を868万円と定めるもの

議案第69号

令和7年度勝田郡障害者地域生活支援事業特別会計補正予算(第1号)

予算の総額から、歳入歳出それぞれ5万9千円を減額し、総額を3千8万2千円と定めるもの

議案第70号

令和7年度勝央町水道事業会計補正予算(第3号)

収益的支出において850万2千円を追加し、総額を4億7千560万9千円とし、資本的収入支出においてそれぞれ1千万円を追加し、資本的収入総額を5千460万1千円とし、資本的支出総額を1億3千162万7千円とするもの

議案第71号

令和7年度勝央町下水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出において、公共下水道事業費用に390万円、特定環境保全公共下水道事業費用に3千円、農業集落排水事業に6万1千円をそれぞれ追加し、総額を8億3千508万円とするもの

報告

報告第6号

令和6年度健全化判断比率の報告について

実質赤字比率……黒字のため算定なし

連結実質赤字比率……黒字のため算定なし

実質公債費比率……11.8%

将来負担比率……5.8%

報告第7号

令和6年度資金不足比率の報告について

水道事業会計……算定なし 下水道事業会計……算定なし

認定案件

議案第72号~第81号

令和6年度の決算認定議案については各会計の決算報告・監査報告の後、総務産業・民生文教それぞれの常任委員会に付託する

令和6年度 監査報告書

一般会計及び特別会計の審査意見の総括事項として、一般会計については、歳入は前年比12.3ポイント8億2千839万円増の歳入総額 75億3千888万円。これは、町税、国庫支出金、繰越金等の増額が主な要因である。

歳出は、前年比13.5ポイント8億1千921万円増の歳出総額69億37万円。勝間田保育園新築園舎工事が増額の主な要因である。

歳入歳出差引は6億3千850万円で収支から繰越明許の翌年度繰越財源1億4千509万円を控除した実質収支は4億9千340万円の黒字決算となった。

歳入において用途の制約がなく、これが多いほど行政活動の自主性と安定性が確保できる自主財源の状況は決算額29億3千148万円。対前年比7千210万円（2.5ポイント）増となった。一般会計の38.8%を占める重要な財源である。

増額の主な要因は町税が決算額20億3千143万円。前年比1億1千538万円（6.0ポイント増）となった。町税等の収入を安定的に確保することは、自治体財政基盤の健全性を保つ上において必要不可欠である。自主財源確保と負担の公平・公正を期す上からも徴収対策は積極的に推進しなければならない。また町税等の不能欠損額は406万円だが、内容を精査したところ関係法令に従って適正に処理されたと認められる。今後も欠損処理は関係法令の趣旨にそった処理を期待する。債権管理は町民に不公平感を抱かせ納付意欲を低下させないよう悪質滞納者に対して毅然とした対応が必要だが、滞納者個々の情報収集による実態の把握等、滞納者個々の生活再建という視点も持った取り組みを継続し滞納解消に向け鋭意努力されることを望む。

令和6年度現年度課税分の徴収率は99.5%で、滞納分の徴収率については17.3%となったが県下市町村の中でも勝央町は例年高い徴収率を確保しており、担当職員の努力により高い徴収率を示している。要員に限られる中で担当部職員の町税収納に対する重要性認識と日々積極的な職務遂行による成果であり大きく評価する。

また、納付方法であるが令和6年4月から介護保険料・後期高齢者医療保険料・住宅使用料・保育料等のコンビニ・スマホ収納が可能になった。様々な支払方法が選べ、徴収率の向上に繋がっていると推測される。コンビニ収納の70.5%がスマホ収納となっており利便性が重視されているようだ。今後もキャッシュレス決済普及に向け積極的に取り組まれない。地方公共団体の基本的使命である住民福祉の向上は財政の裏付けがあって初めて可能となり、そのために自らの創意・工夫により行財政活動を行う必要がある。今後も、財源を適正かつ厳正に確保されたい。

上下水道会計は一般会計から前年比2千189万円減の9千623万円の繰り入れがあり純利益1千426万円と黒字決算だが、累積欠損金が1億342万円と厳しい状況が続いている。更なる経営の安定健全化を図り、多くの課題に積極的に努めることを望む。監査を通して全体的には良好な行財政運営が実施されている。地方財政は極めて厳しい状況下に置かれている。今後の社会情勢の変化を的確に把握し、限られた財源を有効かつ適切に運用し効率的な行財政運営により住民福祉の向上を図る事を望む。

現在第5次勝央町振興計画の前期基本計画が策定されているが、令和8年4月から後期基本計画がスタートする。勝央町の新たなまちづくり基本理念に基づき「心豊かに 安心して暮らせる 自然と文化のまち 元気な勝央」の実現に向け、行政・町民が一体となり更に推進されることを切望する。



町政を問う



勝央町マスコットキャラクター
きんとくん

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質したうえで、政策提言することです。

ページ	議員名	質問内容
5	森本 孝道	1. 米の報奨金の残額は来年度に繰り越すのか 2. 町内道路の巡回は ★空き家対策のその後は
6	片山 謙三	1. 海外ホームステイプログラム事業化を 2. モバイルバッテリーの危険性周知徹底を ★生ごみ処理機の利用促進を ★公民館施設利用申し込み期間緩和を ★夏休み期間中自習室の利用状況は
7	末管 満江	1. 北部3園（植月・吉野・古吉野）は統合後こども園にできないか 2. 包括的性教育の必要性和充実を ★定住促進事業の今後に思う
8	浅田 剛至	1. 渇水対策と農業用水管理の課題対応は 2. 消防団員の減少と負担軽減及び機能別消防団員の活動状況は ★町有地間伐事業について問う
9	下山 静之	1. 第3の居場所の目的と理念は 2. 国の学校部活動の地域展開推進への対策は ★岡山ノースヴィレッジの今後の方向性は ★ふるさと納税の運営システムの改善を問う
10	水島 孝	1. ランドセルの無償配布はできないか 2. 在宅介護者・要介護者・透析患者に無料タクシーチケットの配布はできないか ★勝央こころざしシェアスペースについて問う ★議会を平日の夜間もしくは土日に開催できないか ★手話認知拡大を ★こども未来センター（仮称）について問う ★感謝状・お礼状送付を
11	石浦 長年	1. 骨粗しょう症検診の充実を 2. 避難所となる学校施設の防災機能強化の推進を ★政府の米増産への転換による我が町の取り組みは ★こども誰でも通園制度の推進を ★若者の奨学金返還支援の取り組みを ★AED設置個所の拡充を ★特殊詐欺被害防止の取り組みを

議会だよりには2問まで掲載し、掲載できなかった質問は★で表記しています。



森本 孝道 [もりもと たかみち] 議員

質問

米の報奨金の残額は来年度に繰越すのか

答弁

来年度は新年度予算で新たに考えたい



▲ふるさと納税返礼品に必要なうるち米

問 昨年度、米の農協出荷分の総数量と今年の見込は確認しているか。

答 町長 昨年はうるち米で1万980俵であった。今年は1万7,600俵を見込んでいます。

問 私も今年は農協への供出が増えるのではないかと聞いている。ふるさと納税返礼品の予定はあるか。

答 町長 ふるさと納税額を1億円と見込んでいます。その額を達成するためには精米ベースで1,000俵程度は必要と予定しています。

問 農協に出荷する報奨金はどのくらい予定しているか。また、予算が余った場合、来年度に繰越すことは考えているか。

答 町長 1俵60キロあたり1,000円の上乗せを予定している。今年度分の残額を繰越すことは考えていない。来年は米の価格状況を見極めながら、新年度予算で新たに提案したい。

質問 町内道路の巡回は

答弁

幹線道路は定期的に巡回している

問 最近水路等が損壊している道路が多々あるようだ。道路の巡回確認はしているか。

答 町長 幹線道路については定期的巡回、他部署の職員が用件時の確認・報告する体制はとっている。

問 地区から要望があれば改修等の対応はしてもらえるのか。

答 町長 町道については町の責任で補修・改善するが、集落内の道路や里道等地区の方々への利便に供する道は受益者と行政が協力しての対応を考えている。

問 倒木等による通行困難な道路への対応は。

答 町長 通行に支障がある部分については職員が応急処置を施し、通行を優先している。倒木等の処置については専門業者への委託等も含め年間予算の中で順次進めていく。



▲倒木撤去などの迅速な対応が求められる

質問 海外ホームステイプログラム事業化を



片山 謙三 [かたやま けんぞう] 議員

現状では難しい

答弁

問 町内在住の外国人、また、その知り合いに声をかけ住民との触れ合う機会を作ったり、情報交換を通

答 町長 国際交流センターという位置づけでの施設は考えにないが、来庁される方の相談窓口になったり、学校や教育委員会と相談し、できる範囲の中で対応したい。

問 町内在住の外国人の困りごとや日常生活の相談を受けたリ、イベントを企画する国際交流センターを開設してはどうか。

答 町長 理念としては素晴らしいが、費用面、マンパワーに加え、それに対するノウハウがないのが現状である。町単独での企画については現状ではなかなか取組が難しい。

問 海外ホームステイ体験プログラムを町が募集して町内の小・中・高生、もしくは親子、または、家族を募集して開催してはどうか。

答 町長

理念としては素晴らしいが、費用面、マンパワーに加え、それに対するノウハウがないのが現状である。町単独での企画については現状ではなかなか取組が難しい。



▲国際ボランティア学生との交流

問 じて相互理解、活性化につなげるイベントを開催してはどうか。

答 町長

就労等で我が町にも外国人の数が増えている。民間・町主催のイベントにおいても交流が広がってきているので今後もそういう機会を作っていきたい。

問 ワーキングホリデーに興味のある方を対象にセミナーを開いたらどうか。

答 町長 積極的に町の事業として取り組むというのには難しい状況にあるが、ワーキングホリデー制度の研究を深めていきたい。

問 国際ボランティアアミリの募集を町ができないか。

答 町長

直接広報紙や防災無線でホストファミリーを募集しても新たな掘り起しは難しいと思う。



▲膨張したモバイルバッテリー

問 モバイルバッテリーの発火によって引き起こされる大惨事を未然に防ぐためにも町民に知らせる必要もあると思う。今後どのように対策していくのか。

答 町長

広報紙6月号で注意喚起したが引き続き周知していきたい。

問 不良のバッテリーをごみとして出すときの注意は。

答 健康福祉部参事 まず充電式電池の端子部分にゼロハンテープやビニールテープ等で絶縁し資源ごみの日にごみステーションに排出する。また、電池を取り外せないときは無理に分解せず、販売店に相談するか透明な袋に入れて充電電池と記して不燃ごみの日に排出する。

質問 モバイルバッテリーの危険性周知徹底を

答弁

使用基準を遵守する旨の注意喚起を促したい

質問

北部3園(植月・吉野・古吉野)は
統合後こども園にできないか

答弁

要望にはお答えできない



末菅 満江 [すえすが みつえ] 議員



▲統合予定の北部3園

問

北部3園(植月・吉野・古吉野)

は統合後こども園にできないか。

答

町長

勝間田・高取と同様の保育園とする。

問

北部3園の統合後は、保育園ではなくこども園にし、名称を「きんとくんこども園」として古吉野保育園の跡地に整備してはどうか。

答

町長

町に認定こども園はないが、それに近いサービスは提供している。計画は、保育園として進めていく。名称はいろいろな方々の意見を聞き、ふさわしい名前としたい。場所については決めていない。古吉野保育園の跡地は面積も足りないし、接続する道路も狭い。北小学校との連携を考え、小学校周辺で整備したいと考えている。

問

特色ある園とするために、新園には子育て支援センターやコミュニティスペースを併設し、地域住民や子育て世代の交流拠点として整備してはどうか。

答

町長

新園には一時預かりができるスペースの設置や支援センター的な機能を持たせる。交流拠点は、今後旧勝間田保育園に開設するこども未来センターや第3の居場所などを組み合わせて対応したい。

質問

包括的性教育の必要性和
充実を

答弁

学習指導要綱に基づき
教育している

問

包括的性教育の必要性和充実を。

答

学習指導要綱に基づき教育している。

問

町の学校教育において、包括的性教育の取り組みをどう位置付けているのか。

答

教育長

包括的性教育の取り組みは重要なことと考えており、学習指導要綱に基づき、性について正しく理解して適切な行動が取れることを目的に教育している。

問

教育委員会として教員・保護者に向けての研修等行っているかどうか。

答

教育長

性教育は、本来学校教育ではなく家庭ですべきと考えている。しかし、8割以上の家庭が学校で教育している。



▲多様性が増している社会生活

答

教育長

検討する必要があるが、なかなか困難である。

問

町独自の施策として、生徒の実態に即した性教育の充実を検討していく考えは。

質問 渇水対策と農業用水管理の課題対応は



浅田 剛至 [あさだ たけし] 議員



答弁

まず利用者がルール作りをすることが先決

- 問** 異常気象による渇水問題が今後も続く可能性がある。河川や池の水位が基準を下回った場合の対応マニュアルの考えは。
- 答** 町長 渇水対策の行動指針を示す必要性はあるが、具体的な計画は地元の水利組合や利用者が危機感を持って話し合いルールを作るのが先決だ。
- 問** 渇水時にポンプを使用して水をくみ上げる際の費用補助を考えられないか。
- 答** 町長 有効利用できるルールを作り、なおかつ、問題が生じれば町としても支援を行う。
- 問** 町内の農業用ため池の数や管理状況は。
- 答** 町長 町内には155のため池があり、そのうち120が農業用として機能している。水利権は水利組合や利用者に属しており、町が直接管理するものではない。ため池の改修や管理は地元の意見を反



▲水稻の渇水対策は

映しつつ、町が国や県の補助を活用して支援する形で行われている。

問 農業従事者の減少に伴い、ため池の管理が不十分になっている。町が指導を行うことはできないか。

答 町長 町が命令的な指導を行うのではなく、利用者が管理するべき。防災の観点から、ため池の利水機能を維持するための提案や支援は町が行う。

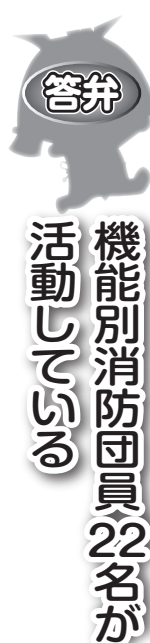
問 渇水時に美作台地開発や西原ダム・久賀ダムの水の利用について国や県と協議できないか。

答 町長 水利権や法的手続きの問題があり、現状では緊急対応として利用するのは難しい。

- 問** 消防団員数が年々減少している。操法訓練などが団員にとって負担となっていない。対策対応の方向性は。
- 答** 町長 操法訓練の負担軽減のために「水出し訓練」や「空出し訓練」などの変更が行われている。いざというときの対応だけは出来る訓練の形が望ましい。
- 問** 昼間の火災時に消防団員が不足する問題に対処するため機能別消防団員が任命された。確保できたのか。
- 答** 町長 現在22名の機能別消防団員が活動しており、地区別の内訳としては植月地区5名、吉野地区4名、古吉野地区4名、勝間田地区

※機能別消防団員とは
個人の能力や事情に合わせて特定の消防団活動に参加する団員のことです。
機能別消防団員は、通常の消防団員（基本団員）とは異なり、活動内容や時間帯が限定されています。この制度は、消防団員の確保が困難になっている現状に対応し、より多くの人々が消防団活動に参加できるようにするために導入されました。

3名、高取地区6名。高齢者の参加は制限されているものの、積極的に活動できる人を受け入れていく。



答弁

機能別消防団員22名が活動している

質問 消防団員の減少と負担軽減策及び機能別消防団員の活動状況は

質問

第3の居場所の目的・理念は



下山 静之 [しもやま やすゆき] 議員

答弁

居場所のない子ども達も含め
子どもがすくすく育つ施設にしたい

問

旧勝間田保育園に設立される子育て拠点施設や第3の居場所の目的や理念・対象者・活動内容は。

答

町長

令和5年4月に施行された「こども基本法」に基づき1階は妊娠時乳幼児期の講座を行なう場や子育て広場、不登校・ひきこもり・ニート等の支援を行なう「子ども・若者サポートネット」の機能を配備する。2階については家庭環境に課題を抱える子ども達に学校でもない家庭でもない第3の居場所として基本的な生活習慣や学習習慣の定着を支援

▲第3の居場所として活用される
旧勝間田保育園舎

し、子ども達が中心となり体験活動を企画運営することで自己肯定感を高め、地域との関わりを学び生き抜く力を育む施設にしたい。

問

乳幼児と小学生が同じ時間帯に同じスペースを使うことに懸念があるが、対応は。

答

町長

未就学児は保護者同伴での利用を依頼することもあるが、年齢の違う児童・生徒達にルール作り等も自ら考えてもらいながら地域の方々や保護者の皆様と共に過ごす場所になれば良いと思っています。

質問

国の学校部活動の
地域展開推進への対策は

答弁

休日は廃止するが
平日は残したいと考えている

問

中学校では柔道と剣道が平日は部活動、休日は地域展開につなげられているが、指導者は変わるのか。

答

教育長

柔道・剣道の場合は学校へ顧問や部活動指導員として来てもらっているので指導員が変わることは無い。

問

その他の文化部・スポーツの状況は。

答

教育長

ソフトテニス・サッカー・陸上は部活動指導員やボランティアの方のおかげで運営できているが、今後どうするかという課題はある。

問

国は令和8年以降に休日部活動をさらに令和11年以降は平日部活動も地域展開を進める方針を打ち出しているが町としての対策は。

答

教育長

休日の部活動については来年度の2学

期からは廃止とする。それ以降は地域移行ということで色々なスポーツ団体や個人で指導できる方を模索している。平日は時間は短くなるかもしれないが、現状どおり学校の部活動を残したいと考えている。

部活動の地域移行って？



部活動の地域連携って？



質問 ランドセルの無償配布はできないか



水島 孝 [みずしま たかし] 議員



答弁

ランドセルの配布はしないが
入学準備金の支給は考えたい



▲検討されている入学準備金

問 少子化対策として小学校入学時にランドセルの無償配布はできないか。

答 町長
ランドセルの無償配布はしない。ただし来年度から小学校入学時に使途を限定しない入学準備金を支給することは考えたい。

質問

在宅介護者・要介護者・透析患者に
無料タクシーチケットの配布はできないか



答弁

いろいろな状況を勘案し検討したい

問

在宅介護者・要介護1から5の人数・透析患者数をそれぞれ示せ。

答

健康福祉部参事

令和7年8月現在で在宅介護者数は介護保険認定者数から施設入所者数を除いた542名。要介護1から5までの人数は要介護1が147名・要介護2が130名・要介護3が85名・要介護4が95名・要介護5が85名で合計542名。透析患者数は41名のうち入院が5名。

問

在宅介護者・要介護者・透析患者に対し無料タクシーチケットの配布はできないか。

答

町長

町内の公共交通機関や移動手段に対し

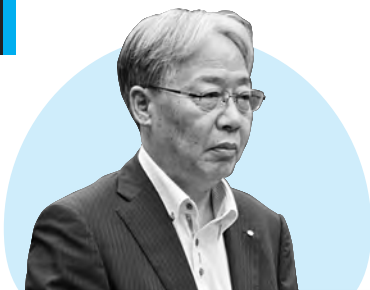
本来に必要な方に何らかの支援は考えている。今研究している町内の移動方法としてスクールバスや福祉バスと関連を考慮しながら検討したい。



▲利便性が高まる様々な移動方法が研究されている

質問

骨粗しょう症検診の充実を



石浦 長年 [いしうら ながとし] 議員

答弁

来年度から
項目付加を検討したい



▲早目の骨粗しょう症予防を！

問

健康増進法の実施要綱では、40歳から70歳まで5歳刻みで骨粗しょう症検査の推奨をしている。フレイルや介護予防に向けて骨粗しょう症の検診の充実の取組が必要ではないか。

答

町長

対象者数や経費を研究しながら、できれば来年度から個別健診まで入れるかどうかは別にして、集団健診でその項目を付け加えることを検討したい。

問

早期発見、予防の事業として骨粗しょう症検査に対する助成、中学生からの若年層へのアドバイスや出前講座の考えは。

答

町長

子どもから高齢者まで予防や日常生活習慣の改善を促して行く必要があると思っている。

質問

避難所となる学校施設の
防災機能強化を

答弁

支障がないように更新していきたい

問

災害時住民が身を寄せる避難所の環境改善は急務である。学校体育館には空調設備が必要であり、各小学校教室の空調設備は数十年前が経過し、維持管理及び今後の更新が必要と考えるがその意向は。

答

町長

令和9年度には中学校の体育館には設置の方向で教育委員会と相談しながら今調整している。また、各教室の空調は学校生活に支障がないようには更新をしていきたい。

問

令和9年度では遅いのもっと早くできないか。

答

町長

少しでも早く事業に取り掛かりたいが、補助金や起債、交付税の令和8年度分は打ち切られているが何とか急ぎたい。



▲体育館空調設置例

勝央町議会活性化特別委員会報告

意見交換会「勝央町の未来を考える」

開催日：令和7年7月5日(土)

会 場：勝央町公民館 1F大ホール

目 的：町内の地域産業に携わっている方々と議員が4グループに分かれ
勝央町が直面している課題や未来に向けた取り組みについて話し合う。

参加者：農業・林業・工業・商業従事者25名と議員12名



各グループが共通認識として挙げられた課題

1. 人材・産業基盤：恒常的な人手不足と後継者不在による事業継承問題
2. 生活環境：物価・光熱費の高騰による住民の経済的負担の増加
3. 自然環境：拡大・深刻化する鳥獣害とそれに関連する諸問題



課題解決策と地域の魅力向上に向けての施策提案 4 つの柱

- 第1の柱：産業振興と経済の活性化
- 第2の柱：計画的なまちづくりと都市基盤整備
- 第3の柱：人材確保と移住・定住の促進
- 第4の柱：住民生活の質向上



※特に要望の強かった事項-鳥獣害対策の徹底：捕獲した鳥獣の適切な処理体制の早急な整備と駆除後の利活用まで含めたアフターケアの仕組み構築。

議員に対して、寄付を出すように勧誘や要求することは禁止されています。

勝田郡議会議員協議会視察研修報告

◆ 開催日：令和7年8月6日(水)

◆ 会 場：鳥取県西伯郡南部町

「地域振興協議会」による 地域づくりについて

少子高齢化・集落の担い手不足・地域コミュニティの弱体化への対応を目的に町内7地区に住民自治を推進する「地域振興協議会」を設置されている。

設立の経緯・予算執行・事例紹介・効果と課題等について質疑応答



◆ 開催日：令和7年8月7日(木)

◆ 会 場：鳥取県西伯郡日吉津村

行政や議会と住民との意見交換に 対する取り組み

移住定住政策について
企業誘致について
等の質疑応答



岡山県町村議会議員研修会報告

◆ 開催日：令和7年8月4日(月)

◆ 会 場：岡山市

岡山市において岡山県町村議会議長会主催による町村議員研修会が行われました。この研修会は、議員の資質の向上、法令順守等について専門家・学識経験者の方々の講義を受けるもので、今年の演題は弁護士の帖佐直美氏が「ハラスメント、自治体議員が注意すべきポイント」について、また、全国町村議会議長会 議事調査部 部長 飯田厚氏より「議員の役割と負託される職務」と題した講演で、勝央町議員は全員出席し熱心に受講し、各自のスキルアップに努めた。

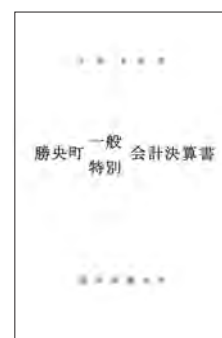


議会用語 Q's & A's

議会や議員、行政に関する用語の解説です。今までの情報・知識を再確認してください。今後更により多くの理解とご協力をよろしくお願いします。

議会 の 決 算 認 定 について何？

「決算認定」とは、議会が1年間の決算内容を確認し、確定することです。法律に適合しているか、計算は正しいか、使われ方は適正かなどを審査するだけでなく、過去の財政状況と比較して問題点を指摘し、将来に反映させるなど、大切な役割が議会にはあります。



▲令和6年度決算書

議会の動き

議員の派遣

- 7月1日～3日 令和7年度議会行政視察研修
大阪府此花区 三重県多気町・松阪市 議員全員
- 7月4日 岡山県町村議会議長会役員会
岡山県市町村振興センター 國政議長
- 7月5日 勝央町議会活性化特別委員会
意見交換会 勝央町の未来を考える 議員全員
- 7月11日 空港津山道路整備促進協議会の要望活動
広島中国地方整備局 國政議長
- 7月22日 令和7年度津山圏域議長協議会役員会
津山市役所 國政議長
- 7月23日 道路・河川関係期成会合同要望活動
広島中国地方整備局 國政議長
- 7月24日 津山圏域資源循環施設組合7月臨時会
津山市役所議場 森本議員
” 津山圏域消防組合議会7月臨時会
津山市役所議場 國政議長 浅田副議長
” 津山広域事務組合7月臨時会
津山市役所議場 末菅議員 下山善則議員
- 7月26日～27日 小山町訪問事業
静岡県小山町 佐藤議員
- 7月29日 空港津山道路整備促進協議会の要望活動
国土交通省及び財務省、岡山県選出の国会議員事務所 國政議長
- 7月31日 安全・安心な県土づくり推進大会2025
岡山市 國政議長
- 8月4日 岡山県町村議会議長会の議員研修及び議員交流会
岡山プラザホテル 議員全員
- 8月5日 安全・安心な県土づくり推進大会2025・要望活動
国土交通省 國政議長
- 8月6日 道路・河川関係期成会合同要望活動
国土交通省及び岡山県選出の国会議員事務所 國政議長
- 8月6日～7日 勝田郡議会議員協議会視察研修（奈義町議会と合同）
鳥取県南部町・日吉津村 議長を除く11名の議員
- 8月7日 令和7年度国道429号津山・東栗倉間道路整備促進期成会総会及び、令和7年度美作岡山道路北部延伸道路整備促進期成会総会
作東バレンタインホテル 國政議長
- 8月19日 令和7年度美作岡山道路北部延伸道路整備促進期成会要望活動
国土交通省 鳥取河川国土事務所 國政議長
- 8月21日 令和7年度津山圏域議長協議会総会
津山市役所 國政議長・浅田副議長
- 8月22日 美作・岡山道路整備促進期成会、美作岡山道路北部延伸道路整備促進期成会、国道429号津山・東栗倉間道路整備促進期成会等の合同要望活動
広島中国地方整備局 國政議長
- 8月29日 美作・岡山道路整備促進期成会、美作岡山道路北部延伸道路整備促進期成会、国道429号津山・東栗倉間道路整備促進期成会等の合同要望活動
国土交通省及び財務省並びに岡山県、鳥取県選出の国会議員事務所 國政議長

組合議会報告

津山圏域消防組合

〈津山・鏡野・奈義・久米南・美咲・勝央〉

7月24日組合議会臨時会開催。

津山圏域消防組合議会議長選挙・副議長選挙が行われ、議長に津山市議会の岡田康弘議員、副議長に鏡野町議会の鈴木大介議員が選任された。

次に津山圏域消防組合議会運営委員会委員長に國政敏明議員、副委員長に津山市議会の吉田耕造議員が選任。また、委員には、鏡野町議会の片田八重美議員、津山市議会の河村美典議員、奈義町議会の小阪二郎議員、久米南町議会の南直樹議員、美咲町議会の左居喜次議員が選任された。

その後、消防ポンプ自動車の購入について・高規格自動車の購入について・工事請負契約についての3議案を審議し、全員賛成で可決した。

最後に津山圏域消防組合議選監査委員として美咲町議会の山本宏治議員、津山圏域消防組合議会識見監査委員として津山市代表監査の和田賢二氏が選任された。（浅田議員）

津山広域事務組合

〈津山・鏡野・奈義・久米南・美咲・勝央〉

7月24日組合議会臨時会開催。

津山広域事務組合議会議長選挙・副議長選挙が行われ、議長に津山市議会の岡田康弘議員、副議長に美咲町議会の山本資議員が選任された。

次に津山広域事務組合議選監査委員として鏡野町議会の片田八重美議員、津山広域事務組合議会識見監査委員として津山市代表監査の和田賢二氏が選任された。（末菅議員）

津山圏域資源循環施設組合

〈津山・鏡野・奈義・美咲・勝央〉

7月24日組合議会臨時会開催。

津山圏域資源循環施設組合議会議長選挙・副議長選挙が行われ、議長に津山市議会の末永弘之議員、副議長に美咲町議会の江原一夫議員が選任された。

次に津山圏域資源循環施設組合議選監査委員として鏡野町議会の小椋明美議員が選任された。（森本議員）

例月出納監査

令和7年5月分から7月分について、いずれの月も適正な事務処理であったとの報告があった。



園児・児童・生徒

秋のイベント特集 in SHOO

勝央中学校



勝央北小学校



勝間田小学校



勝間田保育園



編集後記

今年も実りの秋が始まり、
稲刈りも終わる頃となっています。
秋の訪れを楽しみながら
お過ごしください。

10月12日に金時祭が盛大に
開催されました。

勝間田保育園の新園舎が開
園しましたが、北部三園の統
合へ向けた計画が進んでいま
す。

町民の皆さまの意見や提案
があれば遠慮なく各議員・議
会に届けていただくようお願い
します。
(森本孝道)



【編集委員】

委員長

片山 謙三

副委員長

下山 善則

委員

森本 孝道

岡本 良規

佐藤 誠志